

印刷物をスキャニングして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

### 時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。なお、月に1度くらい「秒合わせ」をすると、時刻はいつも正確です。

(1)時刻モードのとき、Cボタンを押します。  
→現在時刻の「秒」が点滅します。

(2)秒合わせ…時報に合わせてBボタンを押します。  
→「00秒」からスタートします。

秒が10~29のときは切り替わられ、30~59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。  
(時報は「時報サービス117番」が便利です。)

(3)時・分・年・月・日セット  
a. 「秒」が点滅しているとき、Bボタンを押すごとに、以後「時→分→年→月→日→秒」の順で点滅が移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。  
b. セット箇所を選びましたら、Bボタンを押します。  
→Bボタンを押すと点滅箇所の数字が1つずつ進み、押し続けると早く進みます。

上記 a、b の操作を繰り返して現在時刻を合わせます。  
※「時」セットのとき、午前(A)/午後(P)にご注意ください。  
※「年」は、1995~2039年の範囲内でセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日(時刻モードで表示)が算出されます。なお、カレンダーは、うるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(4)すべてのセットが終わりましたら、Cボタンを押して点滅を止めます。  
※点滅表示のまま2~3分間ボタン操作を行わないと自動的に点滅が止まります。

### 操作のしくみと表示の見方

< Bボタンを押すことでモード(表示)が切り替わります。 >

時刻モード  
★ライト点灯 Bボタンを押すと、約2秒間文字板が点灯します。  
★12/24時間制表示切替 Bボタンを押すことで、12時間制表示(午前A/午後P)と24時間制表示とが切り替わります。

★曜日の見方  
12時間制表示のとき、曜日が表示されます。  
日:SU 月:MO 火:TU 水:WE  
木:TH 金:FR 土:SA  
(24時間制表示のときは「G」を表示します。)

アラームモード  
モードマーク(A/L)  
アラーム時刻

タイマーモード  
モードマーク(T/F)  
タイマー時間

ストップウォッチモード  
モードマーク(S/T)  
計測値

### ライト点灯について

どのモードのときでも、Aボタンを押すと約2秒間文字板が点灯します。  
(このとき文字板のアニメ表示が動きます)  
※発光しているときにもう一度Bボタンを押すと、その時点から引き続き約2秒間発光します。  
※アニメ表示には3種類あり、ボタンを押すタイミングで変わります。ただし、セット中(表示点滅)はアニメ表示は行いません。

アニメ表示

<ご注意>  
●直射日光下では、発光が見えにくくなります。  
●発光中にアラーム等の電子音が鳴ると発光を中断します。  
●発光中に時計本体より音が聞こえることがあります。これは発光の際のELパネルの振動音であり、異常ではありません。

### 製品仕様

水晶発振周波数: 32,768Hz  
基本機能: 日・曜日、時・分・秒、午前A/午後P/24時間制表示、フルオートカレンダー(1995~2039年)

その他の機能:  
●自動復帰機能、12/24時間制表示切り替え、EL(エレクトロルミネセンス)バックライト点灯  
表示方式: FE液晶デジタル表示  
主要回路素子: 音叉型高性能水晶振動子、ワンチップCMOS-LSI  
常温帯精度: 平均月差±15秒以内  
使用電池: CR-1220(電池別途販売)  
電池寿命: 約15ヶ月(電子音20秒間/日、ライト2秒間/日、およびタイマー1回/週使用した場合)  
●ただし、ライト使用条件により、電池寿命が短くなる場合があります。  
・1日あたりライト6秒間使用…約1年  
・1日あたりライト10秒間使用…約9ヶ月

### アラームの使い方

Bボタンを押してアラームモードにします。アラームは、分単位でセットできます。セットした時間になると20秒間電子音が鳴ります。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

●アラーム時刻をセットする  
→アラーム「ON」となり、アラーム時刻の「時」が点滅します。  
(1)アラームモードのとき、Cボタンを押します。  
→アラーム「ON」となり、アラーム時刻の「時」が点滅します。  
(2)Bボタンを押して「時」を合わせます。  
※押し続けると早く進みます。

このとき、「時」の午前(A)/午後(P)にご注意ください。なお、基本時刻を24時間制にしておくと、アラーム時刻も24時間制で表示されます。

(3)「時」セット後、Bボタンを押します。→「分」が点滅します。  
※「時」と同様に、Bボタンを押して「分」を合わせます。  
(4)「分」セット後、Cボタンを押して点滅を止めます。  
※点滅表示のまま2~3分間ボタン操作を行わないと自動的に点滅が止まります。

●アラーム・時報の「ON」または「OFF」設定のしかた  
アラームモードのとき、Bボタンを押すごとに、ALM、SIGの右側にそれぞれ「-」マークが点灯/不点灯を繰り返します。  
※マークが点灯しているとON、点灯していないとOFFとなります。

●アラーム音を試しに聞く(デモアラーム)  
アラームモードのとき、Bボタンを約1~2秒間押し続けます。  
→Bボタンを押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

●鳴っている電子音を止めるには  
A/B/Cボタンのいずれか1つを押します。

●自動復帰…アラームモードのまま、2~3分間ボタン操作を行わないと、自動的に時刻モードに戻ります。

### タイマーの使い方

Bボタンを押してタイマーモードにします。タイマーは、1分単位で最大60分までセットでき、1秒単位で減算計測を行ないます。残り時間が0分になると10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせてくれます。

●タイマー時間をセットする  
(1)タイマーモードのとき、Cボタンを押します。  
→タイマー時間の「分」が点滅します。  
(2)Bボタンを押して「分」を進めます。  
※押し続けると早く進みます。  
(3)セット後、Cボタンを押して点滅を止めます。  
※点滅表示のまま2~3分間ボタン操作を行わないと自動的に点滅が止まります。

●タイマーの使い方(減算計測のしかた)  
タイマーモードのとき、Bボタンを押します。  
→Bボタンを押すと計測がスタートします。  
★計測を一時的に中断するには、Bボタンを押します。もう一度Bボタンを押すとその時点から計測を再開します。  
★「タイムアップ後」または「計測中断後」Cボタンを押すと、計測前の表示に戻ります。  
残り時間が5分、および0分(9分77秒)になると、電子音とライトで知らせてくれます

★減算計測中の表示について  
残り時間が5分を超えるとき 5分以下のとき タイムアップ時

●自動復帰…タイマーモードのまま、2~3分間ボタン操作を行わない(計測中は除く)と、自動的に時刻モードに戻ります。

### ストップウォッチの使い方

Bボタンを押してストップウォッチモードにします。ストップウォッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒(24時間計)まで計測できます。(計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。)

●計測のしかた  
ストップウォッチモードのとき、Bボタンを押します。  
→Bボタンを押すと計測が開始します。

★計測を止めるには、Bボタンを押します。また、もう一度Bボタンを押すとその時点から計測を再開します。(積算計測)

★計測中にCボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。  
※計測値を0に戻す(リセット)には、計測終了後Cボタンを押します。

★通常計測  
スタート → ストップ → リセット

★スプリットタイム(途中経過時間)の計測  
スタート → スプリット → スプリット解除 → ストップ → リセット

★1・2着同時計測  
スタート → 1着ゴール → 2着ゴール → 2着タイム表示 → リセット  
(1着タイム表示)

●自動復帰…ストップウォッチモードのまま、2~3分間ボタン操作を行わない(計測中は除く)と、自動的に時刻モードに戻ります。